

平成 11 年

受 療 行 動 調 査

厚生労働省大臣官房統計情報部

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

全国の一般病院を利用した患者（入院・外来）を対象として、層化無作為抽出した一般病院（650施設）を利用した患者を調査の客体とした。

ただし、往診、訪問診療等を受けている在宅患者は調査対象から除いた。

また、外来患者については、通常の外来診療時間内に来院した患者に限ることとした。

3 調査の期日

平成11年10月19日(火)～21日(木)の3日間のうち医療施設ごとに指定した1日。

4 調査事項

外来患者票

他の医療機関の受診の有無、診察前待ち時間、診察時間、
病気に対する説明の状況、カルテについての患者の希望、満足度等

入院患者票

他の医療機関の受診の有無、病気に対する説明の状況、
カルテについての患者の希望、満足度等

5 調査の方法

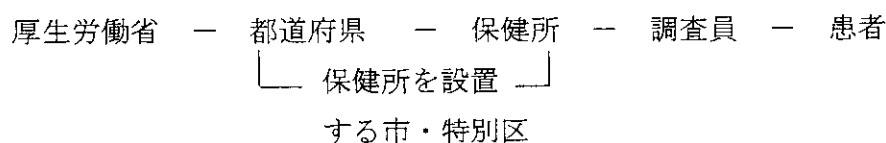
患者への調査票の配布は、外来患者票、入院患者票ともに調査員が行った。

記入は、原則として患者本人の記入方式としたが、記入できない場合については、家族または調査員が補助して記入した。

回収は、患者により回収用封筒に密封された調査票を、医療施設において調査員が回収し、外来患者票については、郵送回収も可とした。

6 調査の系統

(一部郵送回収)



7 集計及び結果の公表

集計は厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

本報告書の統計表については、基本集計及び関連集計に分けて掲載した。

なお、基本集計及び関連集計については、「平成11年医療施設静態調査」による在院患者数、外来患者延数及び「平成11年患者調査」による入院患者、外来患者の年齢構成を用いて全国推計を行った。

(1) 基本集計

基本集計（本調査の調査項目の単独集計）に用いた有効回答数の状況及び調査実施施設数は次のとおりである。

調査票配布数、回収数、回収率、有効回答数

	調査票配布数 (A)	回収数 (B)	回収率(%) (C)=(B)/(A)	基本集計 有効回答数
総数	247,701	193,706	78.2	191,987
外来	160,059	115,108	71.9	113,980
入院	87,642	78,598	89.7	78,007

調査実施施設数

病院の種類	639
特定機能病院	29
療養型病床群を有する病院	154
老人病院	77
小病院	253
中病院	88
大病院	38

病院の種類は、次のとおりとした。

- ・ 特定機能病院 医療法第4条の2に規定する特定機能病院として厚生労働大臣の承認を得ている病院
- ・ 療養型病床群を有する病院 医療法第7条第2項に規定するその他の病床のうち、主として長期にわたり療養を必要とする患者を収容するための病床を有する病院（以下「療養型病床群」と略す。）
- ・ 老人病院 特例許可老人病棟又は老人病棟を有する病院
- ・ 小病院 特定機能病院、療養型病床群及び老人病院を除いた一般病院で、病床規模が20床～99床の病院
- ・ 中病院 特定機能病院、療養型病床群及び老人病院を除いた一般病院で、病床規模が100床～499床の病院
- ・ 大病院 特定機能病院、療養型病床群及び老人病院を除いた一般病院で、病床規模が500床以上の病院

(2) 関連集計

平成11年に受療行動調査と平行して実施した患者調査と医療施設静態調査の2つの調査からデータ・リンケージできた患者を用いて、患者情報並びに施設情報の関連について集計を行った。

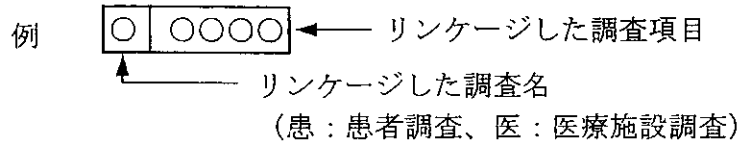
①関連集計に用いた有効客体数は次のとおりである。

有効客体数

		関連集計 有効客体数
総	数	68,419
外	来	37,796
入	院	30,623

②データ・リンケージ項目に関する表章

結果の概要では受療行動調査とデータ・リンケージした調査の調査名及びその調査項目を下記のように示した。



(以下、「8 推計及び誤差率」は省略)

Ⅱ 結果の概要

1 複数の医療機関の受診

○ 外来の4割、入院の6割の患者が、他の医療機関を受診した後に現在の病院を受診

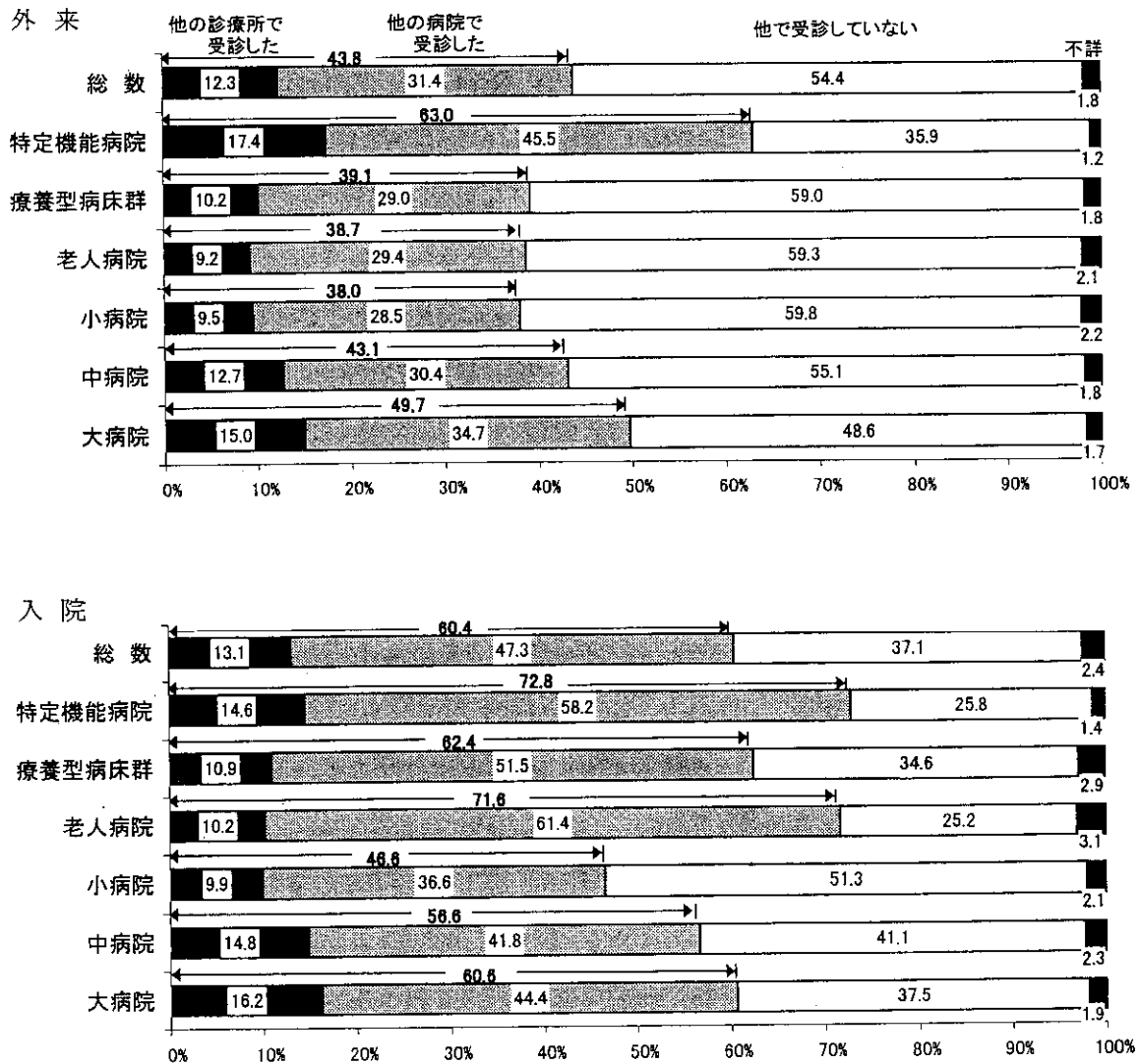
(1) 複数の医療機関の受診の有無

今回の病気で、現在の病院を受診する前に他の診療所又は病院を受診した者は、外来では43.8%、入院では60.4%となっている。

これを病院の種類別にみると、外来では特定機能病院が63.0%と最も多く、次いで大病院49.7%、中病院43.1%となっている。入院では特定機能病院72.8%、老人病院71.6%、療養型病床群62.4%の順で多くなっている。(図1, 統計表7)

図1 病院の種類別にみた複数の医療機関の受診の有無

平成11年10月

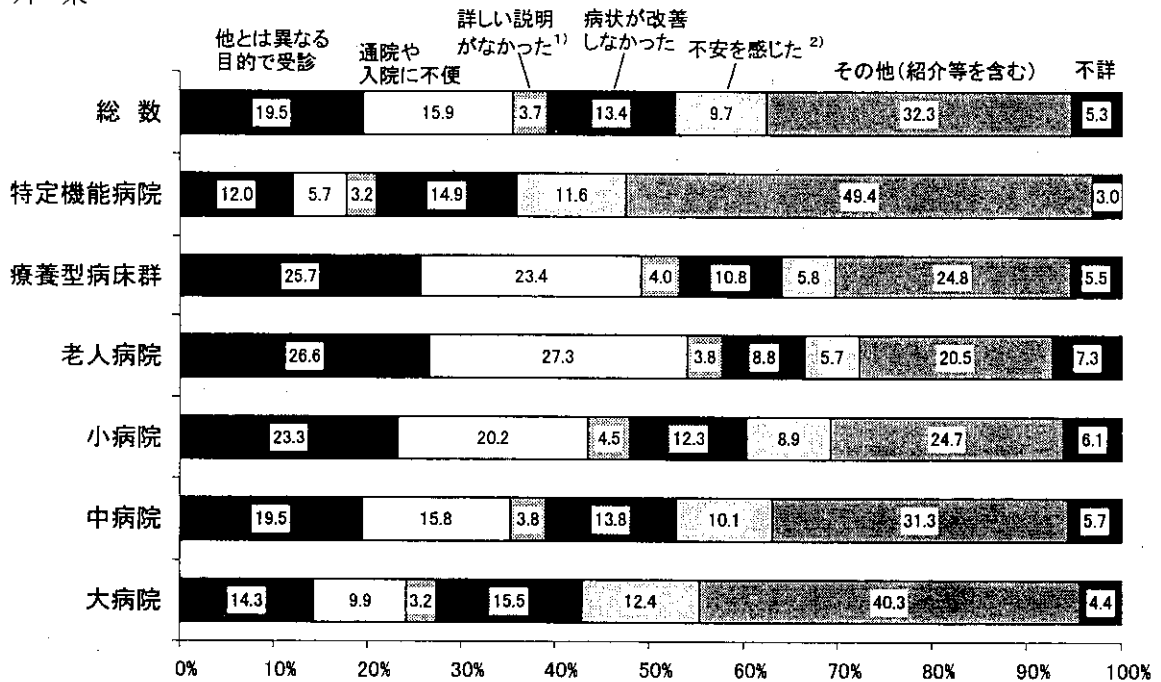


(2) 複数の医療機関を受診した主な理由

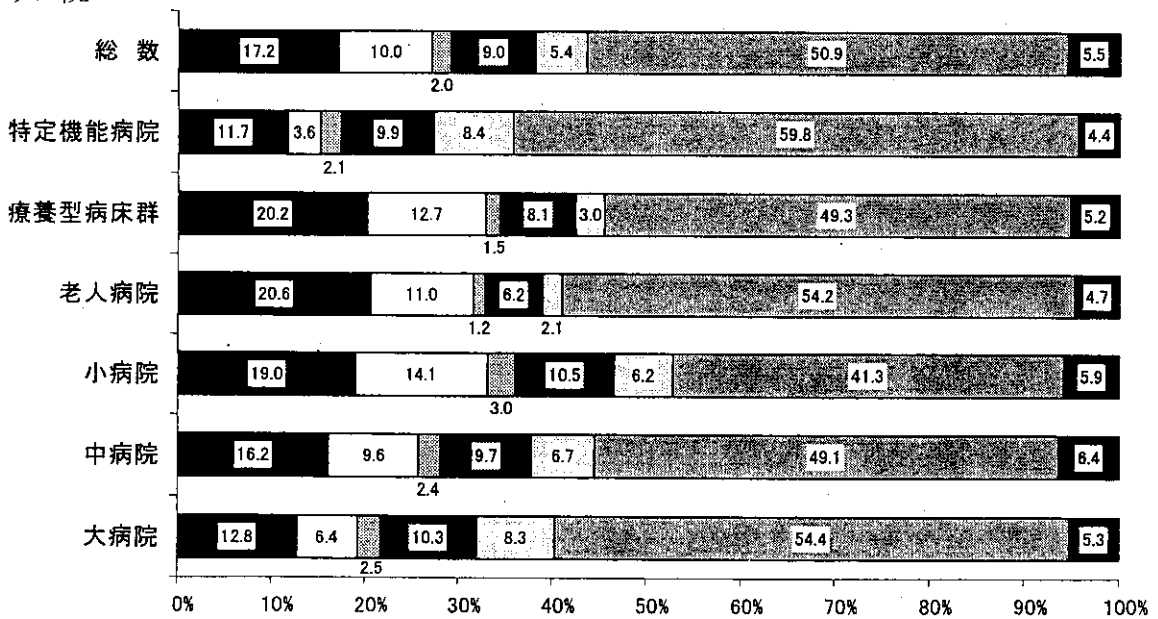
他の医療機関を受診した者について、この病院で受診した主な理由をみると「他の診療所・病院とは異なる目的で受診」が外来では19.5%、入院では17.2%、「通院や入院に不便」が外来では15.9%、入院では10.0%、「通院や入院に不便」が外来では15.9%、入院では10.0%となっている。(図2, 統計表8)

図2 病院の種類別にみた複数の医療機関を受診した者の主な理由 平成11年10月

外 来



入 院



注：1) 「詳しい説明がなかった」 → 「病状や治療内容などについて詳しく説明してくれなかった」

2) 「不安を感じた」 → 「診断や治療内容などについて不安を感じたから」

2 かかりつけ医師の状況

○ かかりつけ医師（日頃病気について診てもらったり相談などする医師）のいる者が6割

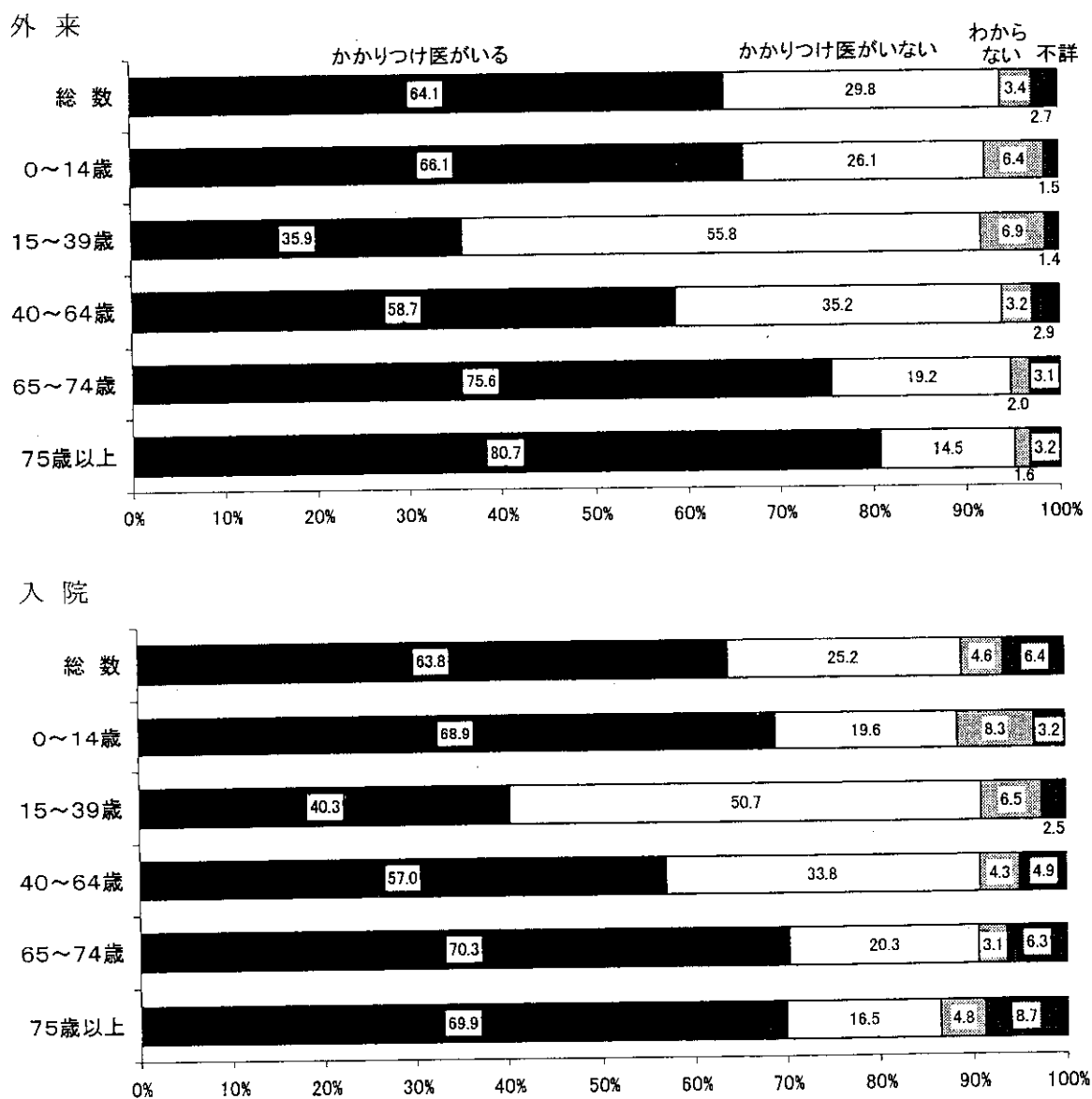
(1) かかりつけ医師の有無

かかりつけ医師の「いる」者は外来では64.1%、入院では63.8%となっている。

これを年齢階級別にみると、外来、入院とも「15～39歳」以上では年齢階級が高くなるほど「いる」者の割合が多い傾向となっている。外来の65歳以上のかかりつけ医師が「いる」者の割合は、「15～39歳」の2倍以上となっている。（図3、統計表10）

図3 年齢階級別にみたかかりつけ医師の有無

平成11年10月



(2) かかりつけ医師への受診状況

かかりつけ医師がいる者についてみると、今回の病気でその医師に診てもらった者は、外来では66.3%、入院では70.6%となっている。

かかりつけ医師のいる医療機関をみると、外来・入院とも「この病院」が多くなっている。

(表1, 統計表10・11)

表1 病院の種類別にみたかかりつけ医師のいる医療機関・受診の有無

(単位:%) 平成11年10月

	外 来					入 院				
	総 数	診療所	この病院	この病院 以外の病院	不詳	総 数	診療所	この病院	この病院 以外の病院	不詳
総 数	100.0	10.5	61.3	22.7	5.5	100.0	14.7	52.7	27.4	5.3
受診あり	66.3	4.5	52.3	8.2	1.4	70.6	8.5	46.7	14.2	1.2
受診なし	21.9	5.2	3.9	12.3	0.5	19.9	5.2	2.9	11.4	0.4
不詳	11.8	0.9	5.1	2.3	3.5	9.5	1.0	3.1	1.8	3.6
特定機能病院	100.0	18.3	46.0	31.6	4.1	100.0	17.8	36.5	40.4	5.2
療養型病床群	100.0	6.1	71.0	17.3	5.6	100.0	10.3	65.7	19.9	4.0
老人病院	100.0	4.9	72.9	16.8	5.3	100.0	12.2	60.0	23.7	4.1
小病院	100.0	6.2	65.8	22.0	5.9	100.0	11.7	59.5	24.2	4.7
中病院	100.0	11.9	59.5	22.9	5.7	100.0	17.1	46.7	29.8	6.4
大病院	100.0	15.0	53.0	27.1	4.9	100.0	18.5	42.3	33.5	5.8

注:「この病院」→「調査時に受診している病院」

3 病院を選ぶ際の情報源

○ 参考にした情報は「家族・友人・知人から聞いた」が最も多い

(1) 参考にした情報の有無

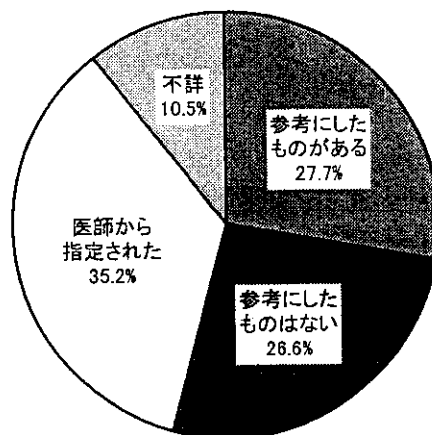
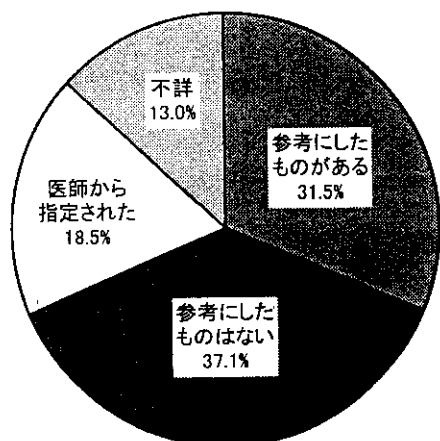
この病院を選ぶにあたり「参考にしたものがある」者は、外来では31.5%、入院では27.7%となっている。(図4, 統計表12)

図4 病院を選ぶ際に参考にした情報の有無

平成11年10月

外 来

入 院



(2) 参考にした情報の種類 (複数回答)

参考にした情報がある者について、その情報をみると、「家族・友人・知人から聞いた」が最も多く、外来では74.2%、入院では69.9%となっている。(表2, 統計表13)

表2 病院の種類別にみた病院を選ぶ際に参考にした情報(複数回答)

(単位: %)

平成11年10月

	家族・友人・知人から聞いた	広告を見た ¹⁾	刊行物や番組を見た ²⁾	インターネットを見た	保健所等行政機関で聞いた	その他	不詳
外 来							
総 数	74.2	3.9	2.1	0.4	4.5	18.2	2.0
特定機能病院	68.5	4.0	8.3	1.4	4.6	20.3	1.5
療養型病床群	73.7	4.7	1.0	0.1	4.9	18.0	2.5
老人病院	71.3	4.7	1.0	0.4	3.5	21.0	1.7
小病院	79.0	5.1	1.5	0.4	2.9	13.5	2.1
中病院	73.6	3.5	1.8	0.3	4.9	19.0	1.9
大病院	73.3	2.8	2.9	0.4	5.0	20.0	1.8
入 院							
総 数	69.9	3.5	2.4	0.4	7.1	21.7	3.1
特定機能病院	67.8	4.1	7.8	2.4	4.3	24.1	2.5
療養型病床群	67.5	3.1	1.3	0.4	6.5	25.6	3.1
老人病院	70.6	4.0	1.6	0.4	11.4	19.0	2.3
小病院	76.3	4.1	1.3	0.1	3.4	18.2	3.2
中病院	69.6	3.7	2.9	0.3	7.5	20.0	3.8
大病院	70.3	2.4	3.2	0.6	6.6	23.0	2.6

注:1)「広告を見た」→「広告(新聞・雑誌・テレビ・電話帳・看板など)を見た」

2)「刊行物や番組を見た」→「刊行物(新聞・雑誌・単行本など)や番組(テレビ・ラジオ)を見た」

4 通院時間

患 紹介の有無

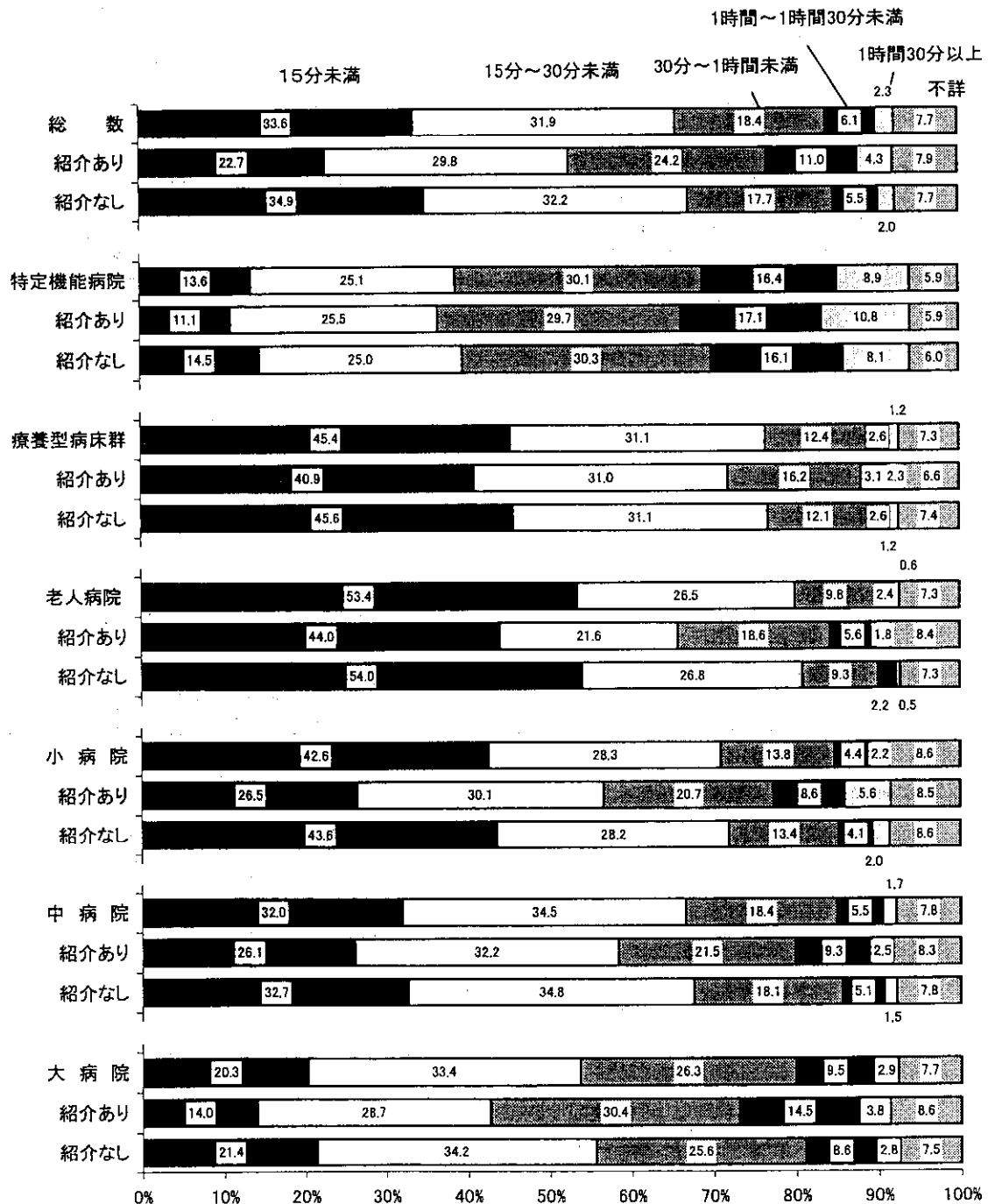
○ 紹介された患者は、紹介されていない患者より通院時間が長い

外来患者の通院時間を紹介の有無別にみると、30分未満では「紹介あり」が52.5%、「紹介なし」が67.1%で「紹介なし」が多くなっている。30分以上では「紹介あり」が39.5%、「紹介なし」が25.2%で「紹介あり」が多くなっている。

これを病院の種類別にみると、特定機能病院では、紹介の有無による差はあまりみられない。(図5、統計表・関連集計4)

図5 紹介の有無別にみた外来患者の通院時間

平成11年10月



5 待ち時間・診察時間

(1) 待ち時間（診察前）

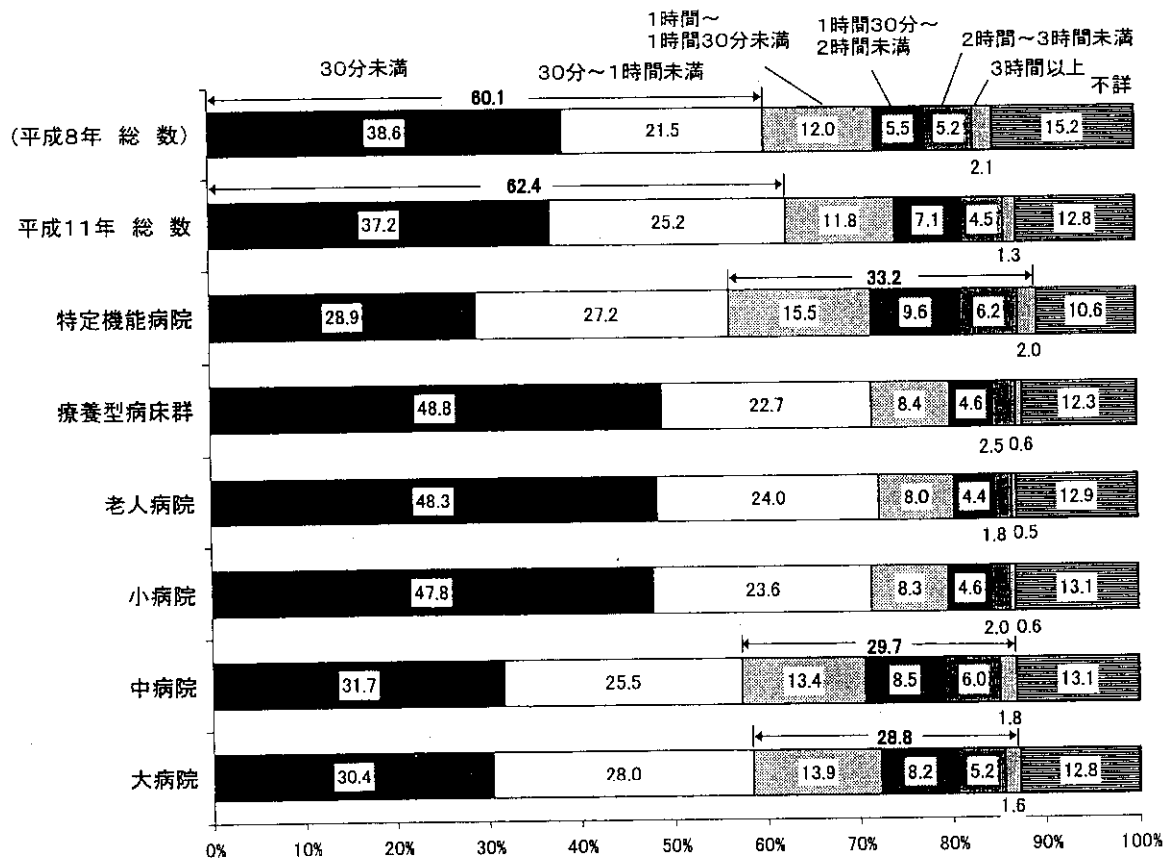
○ 外来患者の6割が1時間未満の待ち時間

外来患者の診察前の待ち時間をみると、「30分未満」が37.2%、「30分～1時間未満」が25.2%となっており、1時間未満では62.4%となっている。

これを病院の種類別にみると、「30分未満」が療養型病床群48.8%、老人病院48.3%、小病院47.8%と多い一方で、1時間以上が特定機能病院、中病院、大病院において、それぞれ33.2%、29.7%、28.8%と多くなっている。（図6，統計表16）

図6 病院の種類別にみた外来患者の待ち時間

平成11年10月



(2) 外来患者の診察時間

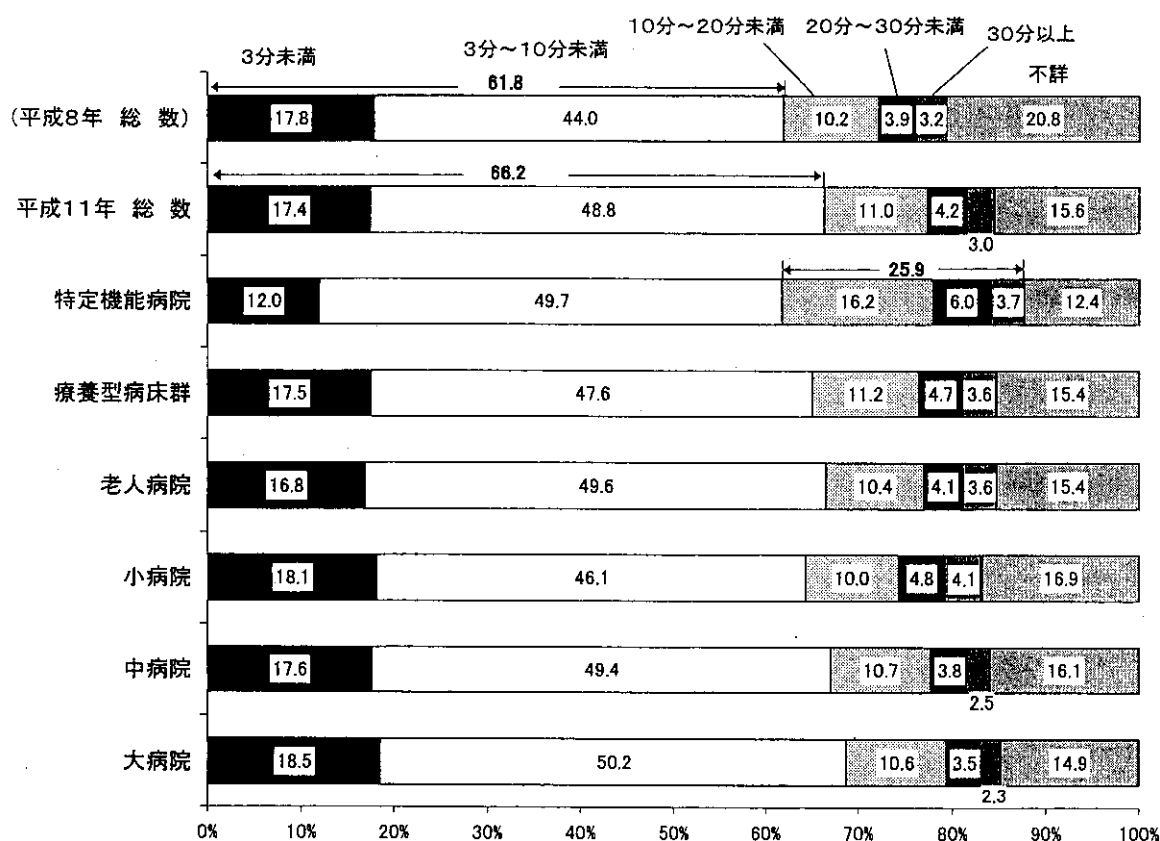
- 外来患者の医師による診察時間「3分～10分未満」は48.8%、「3分未満」は17.4%

外来患者の医師による診察時間をみると、「3分～10分未満」が48.8%、「3分未満」が17.4%となっており、10分未満は66.2%（平成8年61.8%）で、前回調査より4.4ポイント増加している。

これを病院の種類別にみると、特定機能病院では「3分未満」が12.0%と少ない一方で、10分以上が25.9%と多くなっている。（図7，統計表18）

図7 病院の種類別にみた外来患者の診察時間

平成11年10月



注: 医師による診察を受けていない者は除いた。